

活動指針

一つの地球に生きる、一つの家族として。人の痛みや苦しみを誰もが共にし、「みんなが、みんなを支える社会」を日本財団はめざします。
市民。企業。NPO。政府。国際機関。世界中のあらゆるネットワークに働きかけます。知識・経験・人材をつなぎ、ひとりひとりが自分にできることで社会を変える、ソーシャルイノベーションの輪をひろげていきます。



団体の特徴

日本財団は、地方自治体が主催するポートルースの売上金をもとに、国内外の社会課題解決に取り組むNPOの事業への資金助成をする民間の団体です。活動資金の助成をするだけでなく、新たな社会課題を見つけ、解決のためのモデルを作る、調査と実践の機能を持つ世界でもユニークな財団です。「いいことは、みんなでやろう」を合言葉に、寄付やボランティア文化の醸成も進めています。

いただきました寄付については、日本財団は間接経費をいれずに全額を支援活動に活用しています。あわせて、すべての事業の監査を行い寄付者の皆様にしっかりと報告いたします。

主な活動内容

海洋・船舶に関する問題の解決、福祉や教育の向上、災害救援、人道支援や人材育成を通じた国際貢献など、多岐にわたる分野で活動をしています。

ご寄付いただいた場合

◆寄付金は寄附金控除の対象になります。

- ・日本財団へのご寄付は税制優遇措置の対象となります。
<https://www.nippon-foundation.or.jp/donation/about>

◆活動内容を報告します。

- ・毎年アニュアルレポートを作成しています。
https://www.nippon-foundation.or.jp/donation/activity_report
- ・HPにて寄付の活用レポートを随時更新しています。
<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/activity>

団体連絡先

公益財団法人 日本財団

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2
TEL:0120-533-236 メール:kifu@ps.nippon-foundation.or.jp
URL:<https://www.nippon-foundation.or.jp>

ご支援でできること

当商品を通じた寄付金は、日本財団子どもサポート基金でお受けし、様々な困難に直面する子どもたちを支援するために活用します。

日本財団子どもサポート基金

経済的、家庭的、学校生活における困難を抱える日本の子どもは、学年の3人に1人とされています。日本財団では、これまで「子ども第三の居場所」「難病児支援」「夢の奨学金」といった日本の子どもたちへの支援に取り組んできましたが、子どもたちが直面する課題は多岐にわたり、きめ細やかなサポートがさらに求められています。日本財団子どもサポート基金では、様々な生きにくさを抱える子どもたちが未来に希望を持てるような事業に取り組んでまいります。

若者の未来を支える 奨学金事業

社会的養護の経験や犯罪被害等、様々な困難に直面していても未来を諦めない若者を支える奨学金事業を実施しています。
子どもたちが学びをあきらめず、安心して学業に専念できる環境を整えるための給付型の奨学金です。



難病の子どもと その家族の支援

難病を抱える子どもと家族を地域で支える体制を整え、社会的孤立を防ぐための事業を支援しています。
子どもの体験機会を増やしたり家族同士の交流を深めるためのイベントや、遊びの時間を楽しめるようおもちゃセットの配布など様々な取り組みを支援しています。



子ども第三の居場所

様々な困難に直面する子どもたちが、安心して過ごせる場所で「生き抜く力」を育むための子ども「第三の居場所」の整備や体験機会の提供などの事業を支援しています。
習い事や旅行の経験が少ない子どもたちのため、料理体験や地域イベントへの参加、宿泊旅行等を行っています。



〈子どもサポート基金：事業担当者の声〉

いつも日本財団にあたたかなお気持ちをお寄せいただき、誠にありがとうございます。
子どもを取り組む課題が多様化・複雑化する中で、日本財団は子どもたちが幸せに育つことができる社会に向けて、横断的な取り組みを行っています。
子どもの居場所づくりを通じた支援では、初めての宿泊体験を通じて、大浴場の入り方に不慣れな子にとって新たな経験を積む機会となりました。また、家庭で朝食をとる習慣のない子どもから「朝ごはんってこんな感じなんだね」という素朴な感想も。難病児の子どもが楽しめるおもちゃの開発・寄贈事業では「我が子がおもちゃで遊べるなんて思ってもみなかった」と、保護者からの声。給付型奨学金で進学・卒業した学生からは「進学に不安を感じていた中で、寄付者の皆さまからの応援に背中を押された」「夢に向かってまっすぐに突き進み、沢山の事に挑戦し、多くの経験を得ることができた」とのメッセージが寄せられました。
私たちはこれからもひとりひとりの小さな声に寄り添い、日本の子どもやその家族の支援に取り組んでまいります。ぜひ今後ともご支援いただければ幸いです。